

科目名	目指せ！プロフェッショナル～visionを持って自らキャリアデザインを描いてみよう～ season 4		
科目番号	A-4	開設大学名	長崎大学・長崎純心大学
開講場所	長崎大学 薬学部	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年4月12日(水)～ ～平成29年7月26日(水)	曜日	水曜日
		時限	5時限目(通常より20分遅くスタート)
開講時間	16時30分～18時00分(90分) 「毎週水曜日」	授業定員	40人(うち単位互換定員40人)
		履修年次	1年生以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	講師の都合により、講義の順番・講義名は変更されることがあります。	試験・評価方法	出席+授業最後の10分間アンケートによる総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 4月12日	生きる技術を身につけて磨くためのプロローグ	永田 康浩 (長崎大学 地域包括ケア教育センター長)
② 4月19日	『医療の変革に求められるホスピタリティ』□ ～信頼される接遇マナーのポイント～	田中 美吉子 (インターナショナル エア アカデミー長崎校長)
③ 4月26日	精神保健福祉士から研究者へ	吉本 知江子 (長崎純心大学 地域包括支援学科 講師)
④ 5月10日	キャリアとは変化とともに (仮)	谷口 美和 (若者自立支援長崎ネットワーク キャリアコンサルタント)
⑤ 5月17日	キャリアデザインを描く～薬剤師編～	手嶋 無限 (長崎大学在宅医療・福祉コンソーシアム長崎事務局 准教授)
⑥ 5月24日	あなたが拓くこれから ～看護職としての出会いから～	大町 いづみ (長崎大学 保健学専攻 看護学講座 准教授)
⑦ 5月31日	「文化の時代のCSV経営の実践」～企業活動と地域活性化への取り組み～	船橋 修一 (九州教員株式会社 代表取締役社長)
⑧ 6月7日	「それでも、なお」でキャリアを積みむ□～公衆衛生行政で働く医師より～(仮)	長谷川 麻衣子 (長崎県 県南保健所 所長)
⑨ 6月14日	女子も男子もスマイルライフ！	浜田 久之 (長崎大学病院 医療教育開発センター長)
⑩ 6月21日	イノベーションをカタチにする ～刑務所から社会へ～	伊豆丸剛史 (長崎県地域生活定着支援センター 所長)
⑪ 6月28日	キャリアデザインを描く～歯科医師編～(仮)	五月女 さき子 (長崎大学病院周術期口腔管理センター 講師)
⑫ 7月5日	キャリアデザインを描く～社会の変化を踏まえて～(仮)	池田 浩 (長崎大学 地域教育連携・支援センター 教授)
⑬ 7月12日	人間関係に困らないコミュニケーション講座	安永 誠太郎 (JMS日本経営サポート協会 代表)
⑭ 7月19日	子どもに関わる仕事の魅力	田中 珠美 (長崎純心大学 人文学部児童保育学科 助教)
⑮ 7月26日	総合討論ーエピソードー	永田 康浩 (長崎大学 地域包括ケア教育センター長)

連絡先 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 地域包括ケア教育センター TEL:095-819-7046 FAX:095-819-7048

(科目内容) 長崎大学と長崎純心大学が連携し開講する授業科目ですが、それ以外の大学からの参加もあります。今、長崎あるいは国内の最前線で活躍する多分野のエキスパートや先輩方に講師を依頼し、今後みなさんが幅広い分野で活躍できるよう、キャリアデザインを描くうえで参考になるテーマについて授業を行います。講義だけではなく、実際にキャリアプランを立てる実習もあります。多様な社会や生き方に出会い、視野を広げ、自らのVision・キャリアデザインについて考える良い機会にしてください。多くの方のご参加をお待ちしております。

学生の感想・
教員のコメント等

・ここで学んできたことは、今の生活はもちろん、社会に出てからも役に立つものばかりだった。人とうまくやっていくための関係の築き方など実生活でも意識することは多くあった。今後に活かしていきたいです。(総合経済学科)

・医学科・教養科目の授業だけではお会いすることのない個性豊かな講師陣の話が聞けたし、更に長大の他学部を初め、純心大学など普段接することのない他分野を専攻する学生達と、グループワークを通して考えを交わすことができ、良い経験になったと思う。(医学科)


・プロフェッショナルは遠い存在だと思っていましたが、一人ひとりが自分のやっていることや仕事に誇りを持っていたり、誰か認めてくれる人がいるのなら、それはプロフェッショナルなのかもしれないと思いました。私もプロフェッショナルを目指したいと思いました。(現代福祉学科)



科目名	長崎ブレークスループロジェクト(長崎グローバル人財育成講座①)		
科目番号	A-6	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎出島交流会館(5/21)	教養・専門の別	教養
	長崎大学中部講堂(7/9)	単位数	1単位
開講期間	平成29年5月21日(日)	曜日	日曜日
	平成29年7月9日(日)	時限	下記の通り
開講時間	2日	授業定員	100人
		履修年次	1年生以上
実習費等	なし	選考方法	定員を超えた場合は、レポートにより選考
その他特記事項	後期開催科目「長崎グローバル人財育成講座②」と連続して受講すること。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
5月21日	グローバル人財とは何か～出口戦略としてのグローバル人財 (長崎ブレークスループロジェクト説明) グローバルイノベーション・ケーススタディ (長崎グローバル企業によるプレゼンテーション) 課題解決に向けた仮説構築に関するグループワーク	松島大輔 長崎大学教授 渡辺誠治 活水女子大学准教授 その他 長崎県下の企業から
7月9日	課題解決に向けた仮説構築及びプレゼンテーション作成(グループワーク) プレゼンテーション発表会 総括～省察と評価方法について及び将来への展望	講師を招へい

連絡先	長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL 095-819-2075 FAX 095-819-2073
<p>(科目内容) 長崎で学ぶ日本人学生、留学生に対し、長崎起業論、新規ビジネスに向けた仮説構築など、将来の「出口戦略」を提供する。具体的な長崎企業から海外事業の課題に得て、グループに分かれ課題を発見、解決に向けた仮説を構築する究極のアクティブラーニングである。</p> <p>前期は、長崎企業から自らの起業に向けたアイデアを吸収するとともに、長崎の潜在性を企業との議論を通じて実践的に学ぶ。長崎企業の海外展開の可能性について仮説に基づきプレゼンテーションを行うことにより、実践的な社会人力をはぐくみ、「出口戦略」を見出すことができる。</p>	

<p>教員のコメント</p> <p>長崎企業、特にグローバルに第二創業を目指す企業の具体的なビジネスの中に入って活躍できる、稀有な経験が得られます。また奨学金を獲得した学生には、海外での留学チャンスも期待できますので、将来、相手国・地域の課題を、長崎ならではのじげもん技術・ノウハウで解決するという、グローバルに活躍したいと真剣に想う学生、大歓迎です。</p>	
--	--

科目名	「グローバルリーダー育成基礎講座」～基盤となる力とその育成～		
科目番号	A-7	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学・出島交流会館・日吉自然の家	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成28年5月13日(土)～ ～平成28年8月26日(土)	曜日	土、日曜日
		時限	下記のとおり
開講時間	下記のとおり	授業定員	40人(うち単位互換定員 40人)
		履修年次	1年生以上
実習費等	有り	選考方法	書類選考
その他特記事項	大学等の団体、サークル等で企画、運営に当たっている学生。GP企画運営委員は可能な限り受講のこと。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
1 担当教員 長崎大学 池田 浩教授、長崎大学 松島大輔教授、長崎大学 矢野 香助教等		
2 日程		
(1)合宿研修 5月13日(土)～14日(日) 出島交流会館、日吉自然の家		
	① 講義: グローカル社会を生きる基盤となる力について	池田
	② 講義: グローカル人・リーダーとは(基盤となる力)～県内企業担当者等とともに	池田
	③ 講義: グローカルリーダーについて	松島
	④ 講義: 企画運営会議①～プレゼン大会企画書をもとに～	池田
	⑤ 講義: 企画運営会議②～グローバル人材育成のための企画立案～	池田
	⑥ 講義: 企画運営会議③～企画発表・検討会～	池田
(2)基盤要素育成活動の実践 6月～8月		
	⑦ 講義: プレゼンテーション大会開催に向けて(企画、運営方法等立案)	池田・矢野
	⑧ 講義: プレゼンテーション大会開催に向けて(企画、運営方法等立案)	池田・矢野
	⑨ 講義: プレゼンテーション大会予選会運営～課題等から～	池田・矢野
	⑩ 講義: プレゼンテーション大会予選会運営～課題等から～	池田・矢野
	⑪ 講義: プレゼンテーション大会本選運営～成果と課題から～	池田・矢野
	⑫ 講義: プレゼンテーション大会本選運営～成果と課題から～	池田・矢野
	⑬ 講義: 基盤要素育成活動の実践(各大学等) 成果等の振り返り	池田
(3)事後講義 8月26日(土) 出島交流会館		
	⑭ 講義: グローカルリーダーに求められる力～県内企業担当者とともに～	池田
	⑮ 講義: 活動報告及び活動の振り返り。自己評価	池田

連絡先 長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL095-819-2075 FAX095-819-2073

(科目内容)
この授業の目的は、地域における課題をグローバルな視点で考え行動できる人材を育成するために、その基盤となる「違いを認め受け入れる異文化理解・適応能力」や「留学生、他大学学生とともに共修事業を企画・運営する力」等を実践的に高めることです。海外でのビジネスを展開されている県内企業の方や県内大学間で共同実施しているグローバル人材育成プログラム関係者等との意見交換、また共修事業の一環として開催されているプレゼンテーション大会の企画・運営に関わることでグローバルリーダーとしての基礎となる力を育成します。

学生の感想・
教員のコメント等


グローバル社会は多文化社会です。言語、生活習慣、文化、宗教等、異文化を受容し、共に協働する力を身に付けていくことは、国内・国外を問わず次代を生きる人として身に付けておかなければならない資質・能力といえます。急激に変化していく社会をグローバルな視点で捉え、地域で生じる様々な課題解決のために一歩前へ踏み出す力、実践を通してつながり合う力を身につけることが必要とされます。本講座ではその基礎となる力や人をつなげるためのリーダー性を実践を通して育成したいと考えています。



科目名	プレゼンテーション力 養成講座		
科目番号	A-8	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学・出島交流会館	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年 6月11日(日)~7月9日(日) 集中講義型	曜日	日曜日
		時限	下記の通り
開講時間	下記の通り	授業定員	50人
		履修年次	1年生以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	プレゼンテーション大会出場者は、下記日程に加え7/1(土)開催の予選会も時間を調整してください。詳しくは下記連絡先にお問い合わせください。	試験・評価方法	講義内のプレゼン実習・レポート授業の参加程度を評価します

開講日	講義名	担当教員
1 担当教員 長崎大学キャリア支援センター 矢野 香 助教		
2 日程		
6月11日(日) 10:00~17:20	場所:出島交流会館 ・オリエンテーション ・講義① プレゼンテーションとは? プレゼンテーションの歴史、スピーチとプレゼンテーションの違い など ・講義② 社会でプレゼンテーション力が求められている背景 ・講義③ 社会人基礎力としてのプレゼンテーション ・講義④ プレゼンテーション実践	
6月18日(日) 10:00~17:20	場所:長崎大学 教養教育講義棟 A-11,12講義室 ・講義⑤ 言語スキルと非言語スキル ・講義⑥ 言語スキルトレーニング~話の組み立て方・言葉遣い ・講義⑦ 「上手い」といわれるプレゼンテーションをするコツ ・講義⑧ プレゼンテーション実践	
6月25日(日) 10:00~17:20	場所:長崎大学 教養教育講義棟 A-11,12講義室 ・講義⑨ 論理的に相手を説得する技法 ・講義⑩ 非言語スキルトレーニング~表情・ジェスチャートレーニング ・講義⑪ ボイストレーニング ・講義⑫ プレゼンテーション実践	
7月9日(日) 13:00~17:20	場所:長崎大学 スカイホール ・講義⑬ プレゼンテーション大会 ・講義⑭ プレゼンテーション大会 ※プレゼンテーション大会にプレゼンターとして出場、または見学。見学者はプレゼンターの審査を行います。 ・講義⑮ 総括	

連絡先	長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL 095-819-2075 FAX 095-819-2073
(科目内容) プレゼンテーションについて集中講義による授業を行います。この授業の目的は、学生時代はもちろん、社会に出てからも必須の力であるプレゼンテーション力を身につけることです。ゼミでの口頭発表や就職面接など自分の考えを伝える場面で、自らの将来を切り開くための自己表現力を学びます。①話す内容としてのキャリア分析②プレゼンテーションスキルトレーニング③プレゼンテーション大会への参加または見学・審査などの学習活動を通じて、自分のキャリアを形成していくために必要な実践的なプレゼンテーション力の習得をめざします。プレゼンテーション時の言語は日本語、英語から選択してもらいます。	

受講生のコメント	<p>・難しいと思っていたプレゼンテーションは、決して難しい技術ではないということがわかった。</p> <p>・プレゼンテーションの方法を学び、表情をコントロールできるようになり、話す内容に起承転結をつけられるようになった。</p> <p>・堂々としたレベルの高いプレゼンターの発表を聞くことができ、感動した。</p> <p>・他の学生の夢や目標を聞き、その楽しそうな様子を見て、すごく元気が湧いてきて、自分も負けない、頑張ろうという気持ちになった。</p>
	

科目名	在宅医療・福祉早期体験学習		
科目番号	A-9	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学薬学部	教養・専門の別	教養
		単位数	1単位
開講期間	平成29年8月23日(水) ～平成29年8月25日(金)	曜日	開講期間のとおり
		時限	下記の通り
開講時間	下記の通り	授業定員	30人(うち単位互換定員 30人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	交通費	選考方法	書類選考
その他特記事項	「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」のホームページに掲載しているWEB講座を事前に視聴してから授業に臨むこと	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
8月23日	【オリエンテーション・体験学習】 9:30 長崎大学薬学部集合 オリエンテーション・ミニレクチャー 11:30 昼食 13:00 地域包括支援センターでの体験学習 17:00 現地解散	
8月24日	【体験学習】 9:00 現地集合 訪問看護ステーション、薬局、診療所、歯科診療所での体験学習 17:00 現地解散	
8月25日	【学習報告会】 9:50 長崎大学薬学部集合 10:00 グループワーク 12:00 昼食 13:00 グループワーク発表準備 14:00 学習報告会 15:30 まとめ 16:00 解散	
連絡先	長崎大学薬学部(在宅医療・福祉コンソーシアム長崎担当) TEL:095-819-2416	
<p>(科目内容)【在宅医療・福祉早期体験学習】は、平成28年度までの文部科学省の補助事業「長崎薬学・看護学連合コンソーシアム」と「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」により、長崎県内の国公私立3大学(長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学)が中心となって大学・地域連携で開発した授業科目である。大学・学部間の垣根を越えて、地域の訪問看護ステーション、薬局、診療所、歯科診療所の施設担当者とともに在宅療養者宅への同行を行うことを通し、在宅療養支援の実際を知ることで多職種協働によるチームアプローチの重要性を考えてもらうことを目的とする。</p>		

学生の感想・
教員のコメント等


<教員のコメント>(※右は、昨年の多職種連携早期体験学習の写真です)
昨年まで開講していた「多職種連携早期体験実習及び「がん医療・緩和ケア実習」を統合させ、今年度新たにリニューアルした実習です。

<受講生の感想>(一部抜粋)
(※以下、昨年まで開講していた「多職種連携」早期体験実習及び「がん医療・緩和ケア実習」の受講生の感想です)
在宅療養支援を必要としている人に対して多職種で連携・協働して問題解決をはかることの重要性はとて大きく、患者中心で進めることがより良い状態にすることだと考える。(看護学生)
体験する前と体験した後では考え方も変わり多くの良い知識を学べました。在宅療養支援、多職種連携は大変重要でこれから活発化されていくべきだと思います。信頼関係や情報提供・連携など難しい部分もありますが理解し取り組んでいる社会になってほしいと感じました。(薬学生)



科目名	在宅ケア概論 I		
科目番号	A-12	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学薬学部	教養・専門の別	教養
		単位数	1単位
開講期間	平成29年10月5日(木)～ ～平成29年10月27日(金)	曜日	木曜日・金曜日
		時限	5時限目
開講時間	16時30分～18時00分 (90分)	授業定員	80人 (うち単位互換定員 80人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」のホームページに掲載しているWEB講座を事前に視聴してから授業に臨むこと	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 10月5日	オリエンテーション・在宅療養支援概論	中嶋 幹郎 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
② 10月6日	在宅療養支援における医師の役割	天本 俊太 (長崎県医師会)
③ 10月12日	在宅療養支援における長崎在宅Dr.ネットの役割	山口 雅治 (認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット)
④ 10月13日	在宅療養支援における介護支援専門員の役割 I	大町 いづみ (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
⑤ 10月19日	在宅療養支援における看護職の役割	未定 (長崎県看護協会)
⑥ 10月20日	在宅療養支援における薬剤師の役割 I	手嶋 無限 (アイビー薬局)
⑦ 10月26日	在宅療養支援における歯科医師の役割	介出 主 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
⑧ 10月27日	在宅療養支援における地域包括支援センターの役割	松本 雄一郎 (長崎市地域包括支援センター連絡協議会)
連絡先	長崎大学薬学部(在宅医療・福祉コンソーシアム長崎担当) TEL:095-819-2416	
(科目内容) 【在宅ケア概論 I】は、平成28年度までの文部科学省の補助事業「長崎薬学・看護学連合コンソーシアム」と「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」により、長崎県内の国公立3大学(長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学)が中心となって大学・地域連携で開発した授業科目である。在宅療養における医療・福祉支援の実際について理解を深められる構成であり、実際に在宅医療・福祉の現場で活躍中の先生方を講師陣として招聘し、臨場感あふれる講義を展開できるよう計画している。		

学生の感想・ 教員のコメント等	
<p><受講生の感想>(一部抜粋) (※以下、昨年まで開講していた「在宅ケア概論」の受講生の感想です)</p> <p>患者を病院だけで診るのではなく、在宅介護サービス、老人ホーム、薬局、家族などと連携を取りながら、地域全体で患者を診ることが在宅医療の向上につながると思います。講義を聞いて、将来在宅に関わる仕事に就きたいと思うようになりました。(薬学生)</p> <p>今回のお話で在宅のメリット・デメリットを踏まえたうえで、患者さんの意思、家族の状況、医療の状況などを考え、患者さんの希望を満たせるように家族を支えられる在宅医療が必要だと思った。また、患者さんの希望に気づける医療人になりたいと思った。(薬学生)</p> <p>職種それぞれに工夫が必要で、多くのことを考えながら連携した仕事をしなければならぬと改めて感じた。(聴講生)</p>	

科目名	キャリア実践 講義 ～自分の社会人スキルを試してみよう！～		
科目番号	A-16	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎市出島交流会館・佐世保青少年の天地	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年10月14日(土)～11月11日(土) (1泊2日の合宿型) ※別に事前・事後講義有り	曜日	土、日曜日
		時限	下記の通り
開講時間	下記の通り	授業定員	50人
		履修年次	1年生・2年生・3年生
実習費等	有り	選考方法	
その他特記事項	事前講義・事後講義については出島交流会館の講義室で行う予定です。必ず全日程に出席してください。	試験・評価方法	レポートと授業中のワークなどへの参加程度を評価します

開講日	講義名	担当教員
1 担当教員		
長崎大学キャリア支援センター 矢野香助教、企業経営者・人事担当者等		
2 日程		
10月14日(土)	【事前講義】 10:00～17:20 場所:出島交流会館(長崎市)	
	・講義① オリエンテーション・課題解決型学習とは？	
	・講義② 社会で求められる人材とは？	
	・講義③ 企業紹介・企業の事例研究	
	・講義④ 企業経営者 講演	
10月28日(土)	【合宿研修】 場所:長崎県立佐世保青少年の天地	
	10:00 チャーターバスにて長崎大学文教キャンパス出発	
	11:30 波佐見町 到着 ～昼食休憩～	
	12:30 ・講義⑤ 企業視察 ※企業担当者より案内していただく	
	・講義⑥ 企業視察 ※企業担当者より案内していただく	
	15:30 ・講義⑦ 現地視察 ※地域おこしメンバー・Iターン者等と交流	
	・講義⑧ 現地視察 ※地域おこしメンバー・Iターン者等と交流	
	17:00 県立佐世保青少年の天地へ移動	
	18:00 到着、夕食、自由時間など	
	22:00 就寝	
10月29日(日)	9:00 ・講義⑨ グループ演習(屋外レクリエーション)	
	・講義⑩ グループ演習 (企業から出された課題に対し、解決するための企画を作成)	
	12:10 昼食休憩	
	13:10 ・講義⑪ グループ演習 (企業から出された課題に対し、解決するための企画を作成)	
	15:30 県立佐世保青少年の天地 チャーターバスにて出発	
	17:00 長崎大学文教キャンパス到着 解散	
11月11日(土)	【事後講義】 10:00～17:20 場所:出島交流会館(長崎市)	
	・講義⑫ 企画プレゼンテーション	
	・講義⑬ 企画プレゼンテーション	
	・講義⑭ 企画プレゼンテーション	
	・講義⑮ 審査・総括 ※企業担当者も審査に参加	

連絡先	長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL 095-819-2075 FAX 095-819-2073
-----	--

(科目内容) この授業は、企業や地域が提供する課題に、学生がチームを作り協力しながら取り組む課題解決型学習(PBL)です。今回は長崎県波佐見町の事例を取り上げます。伝統ある陶磁器の街で過疎化が問題となっていたものの、近年世界中の若者に注目されている町、波佐見町。その舞台裏で、地域と協力しながら課題に取り組んでいる県内企業(ソリューション事業・ホテル事業など)の実際の事例を、経営者や担当者の話・現地視察を通して学びながら、リアルな課題として取り組む実践的な内容です。この講義の目的は、社会に出てから必要とされる「分析力」「課題解決力」「チームで働く力」そして「プレゼンテーション力」を主体的に身に付けることです。また、合宿生活の中で学生同士の交流を深めることでコミュニケーション力も養われます。


教員のコメント

「社会とは何か」「働くとは何か」を体験的に学びます。いま「HASAMI」に世界中から観光客が訪れているのは、注目されるための仕掛けが行われたからこそです。地域と企業とが地域活性化のためにやってきた事例を実際に現地に出向き学びながら、連携企業の経営者や担当者からリアルなご指導をいただくことのできるまたとない機会です。また地元にてIターンした方や地域おこしをなさっている方などと交流することで、それぞれの生き方をキャリアモデルとして考えてみてください。実際の「仕事」に近い活動を経験することで、自分の特性や能力を見つめなおし、これからの自分のキャリアを考えるヒントにしましょう。




科目名	長崎ブレークスループプロジェクト(長崎グローバル人財育成講座②)		
科目番号	A-17	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎出島交流会館(10/22) 場所未定(長崎市内)(3/4)	教養・専門の別	教養
		単位数	1単位
開講期間	平成29年10月22日(日) 平成30年3月4日(日)	曜日	日曜日
		時限	下記の通り
開講時間	2日	授業定員	100人
		履修年次	1年生以上
実習費等	なし	選考方法	定員を超えた場合は、レポートにより選考
その他特記事項	前期開催科目「長崎グローバル人財育成講座①」と連続して受講すること。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
10月22日	長崎グローバル企業における海外展開の事例と海外の可能性 海外事情分析 学生によるプレゼンとそれに対する応答	松島大輔 長崎大学教授
3月4日	海外留学・インターンシップ経験者による海外における事業展開事例の発表 ピアレビュー・付加価値化及びプレゼンテーション作成(グループワーク) プレゼンテーション発表会 総括～省察と評価方法について及び将来への展望	その他 長崎県下の企業から講師を招へい
連絡先	長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL 095-819-2075 FAX 095-819-2073	
<p>(科目内容) 長崎で学ぶ日本人学生、留学生に対し、長崎企業の具体的な海外展開に対し、案件形成に向けた知の技法の習得など、今後グローバルに飛翔する学生諸君の社会人を涵養し、将来の「出口戦略」を提供する。具体的な長崎企業から海外事業の課題に対し、グループに分かれ解決に向けた仮説を検証し、事業化する究極のアクティブラーニングである。</p> <p>後期は、具体的な長崎企業の海外展開に寄り添いながら事業展開を模索することを通じて、将来に向けた具体的な問題意識を先鋭化させるとともに、その実現に向けた内外のネットワークを手にするという「出口戦略」の確立が期待される。</p>		

<p>教員のコメント</p> <p>長崎企業、特にグローバルに第二創業を目指す企業の具体的なビジネスの中に入って活躍できる、稀有な経験が得られます。また奨学金を獲得した学生には、海外での留学チャンスも期待できますので、将来、相手国・地域の課題を、長崎ならではのじげもん技術・ノウハウで解決するという、グローバルに活躍したいと真剣に想う学生、大歓迎です。</p>	
--	--

科目名	在宅ケア概論Ⅱ		
科目番号	A-18	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学薬学部	教養・専門の別	教養
		単位数	1単位
開講期間	平成29年11月2日(木)～ ～平成29年12月7日(木)	曜日	木曜日・金曜日
		時限	5時限目
開講時間	16時30分～18時00分(90分)	授業定員	80人(うち単位互換定員 80人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」のホームページに掲載しているWEB講座を事前に視聴してから授業に臨むこと	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 11月2日	地域における多職種協働	松坂 誠應 (長崎リハビリテーション病院)
② 11月9日	在宅療養支援における訪問リハビリの役割 ～理学療法士～	本田 憲一 (長崎県理学療法士協会)
③ 11月10日	在宅療養支援における訪問リハビリの役割 ～作業療法士・言語聴覚士～	黒木 一誠 (長崎県作業療法士会) 戸澤 明美 (長崎県言語聴覚士会)
④ 11月16日	在宅療養支援における薬剤師の役割Ⅱ	手嶋 無限 (アイビー薬局)
⑤ 11月24日	在宅療養支援における介護支援専門員の役割Ⅱ	大町 由里 (長崎県介護支援専門員連絡協議会)
⑥ 11月30日	在宅療養支援における管理栄養士の役割	古川 美和 (長崎県栄養士会)
⑦ 12月1日	在宅療養支援における歯科衛生士の役割	猪野 恵美 (長崎県歯科衛生士会)
⑧ 12月7日	在宅療養支援における介護専門職の役割	堀部 和貴 (長崎県介護福祉士会)
連絡先	長崎大学薬学部(在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 担当) TEL:095-819-2416	
<p>(科目内容)【在宅ケア概論Ⅱ】は、平成28年度までの文部科学省の補助事業「長崎薬学・看護学連合コンソーシアム」と「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」により、長崎県内の国公立3大学(長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学)が中心となって大学・地域連携で開発した授業科目である。在宅療養における医療・福祉支援の実際について理解を深められる構成であり、実際に在宅医療・福祉の現場で活躍中の先生方を講師陣として招聘し、臨場感あふれる講義を展開できるよう計画している。</p>		

<p>学生の感想・ 教員のコメント等</p> <p><受講生の感想>(一部抜粋) (※以下、昨年まで開講していた「在宅ケア概論」の受講生の感想です)</p> <p>高齢者になると噛む力、飲み込む力が低下してきますが、食を通してより良い栄養状態やQOLを維持・向上できると思います。また、ユニバーサルデザインフードの開発によって食介護の負担が減ったり、食べることの楽しみを支援しやすくなったと思います。(薬学生)</p> <p>在宅ケアだけではなく、地域の活動の場に参加できるよう、支援することも、より良い生活を送るためには重要なことだと思いました。(薬学生)</p> <p>少ない限られた時間の訪問リハで効果を上げるには関係職種や家族の協力なしには実現できないことを学びました。(聴講生)</p>	
--	--